

平成 28 年も師走の声を聞く季節となりました。11 月後半に寒波が押し寄せ例年より早い冬將軍の足音が聞こえ、野山や動物たち、そして人間も冬支度で大忙しの今日このごろです。

本年は、全国的には熊本県、鳥取県を襲った大規模地震災害、北海道、東北地方の豪雨災害など大きな自然災害がありました。

被災地の皆様には心からのお見舞いを申し上げます。

幸い本村では、今のところ大きな災害も無く、このまま越年できることを願いたいと思います。

さて、12 月ということで東白川村の今年一年を振り返ってみます。

○ 村の農業を大きく転換していく取り組みである「みのりの郷東白川株式会社」を設立することができました。

農家の皆さんやオペレーターの皆さんの協力と努力により、水稻の農業サポート事業については、有限会社新世紀工房からの事業承継が順調にできました。

○ 神土に交流サロンが「ふれあいサロン」としてオープンしました。

サロン内のカフェ営業も軌道に乗り、お年寄りから子ども達までが気軽に立ち寄り活用していただいております。

子ども達が宿題をする傍らで地域の皆さんがお茶を飲みながら談笑していただいている姿がそこにあり嬉しい限りです。これから、屋内軽スポーツのカローリングなどを楽しんでいただき、冬場の健康増進にも活用して頂きたいと思っております。

○ 福祉医療ゾーン整備事業では専門委員会での検討を重ねて参りました。整備計画を 12 月の村議会で説明し承認いただき、いよいよ本格的に施設整備の準備に着手できることとなります。

詳しいことは新年になりましたら、集落座談会を開催し、整備計画の概要を村民の皆さんに説明させて頂くことにしております。

○ 各所の道路改良や急傾斜対策、治山治水事業も厳しい財政状況の中ではありますが、国や県の補助制度を活用し、満点ではないにしても順調に進めることができたと自負しております。

○ 東白川村 消防団が組織体制の見直しを行い団員数が 130 名となった今年、第 5 部可搬ポンプが加茂郡消防操法大会優勝を経て、6 年ぶりとなる県大会出場を果たしました。

災害に強い村づくりの要として、より強固となった東白川村消防団に期待を寄せています。

○ この 4 月から「東白川村美しい村づくり委員会」が活発な活動を始めました。

村外から移住してきて頂いている皆さんも仲間になって「美しい村東白川」の宝物探しを精力的に行ってくれています。時間をかけて引き続き活動を続けてまいります。

○ 美しい村といえば今年は大きなふるさと資源である「郷土歌舞伎公演」の第 40 回記念公演が大盛況のうちに開催され、私も口上をもって参加させていただくことができ、衣装の短かった袴の裾丈とともに良い思い出ができました。

○ 地方創生事業によりホームページの更新と「つちのこマルシェ」がウェブ上で公開が始まったことも意義深いことでした。

専門の部署を設置し、今後益々東白川村は情報発信が上手になったと云われるようにしてまいります。

思いつくままに平成 28 年を振り返ってみましたが、行政では既に来年度の予算案作成に取り掛かっております。

一年間の皆様の村政に対するご協力に感謝申し上げますとともに、来る平成 29 年が皆様にとって幸多かれと願っております。

平成 28 年 12 月 1 日

東白川村長 今井俊郎